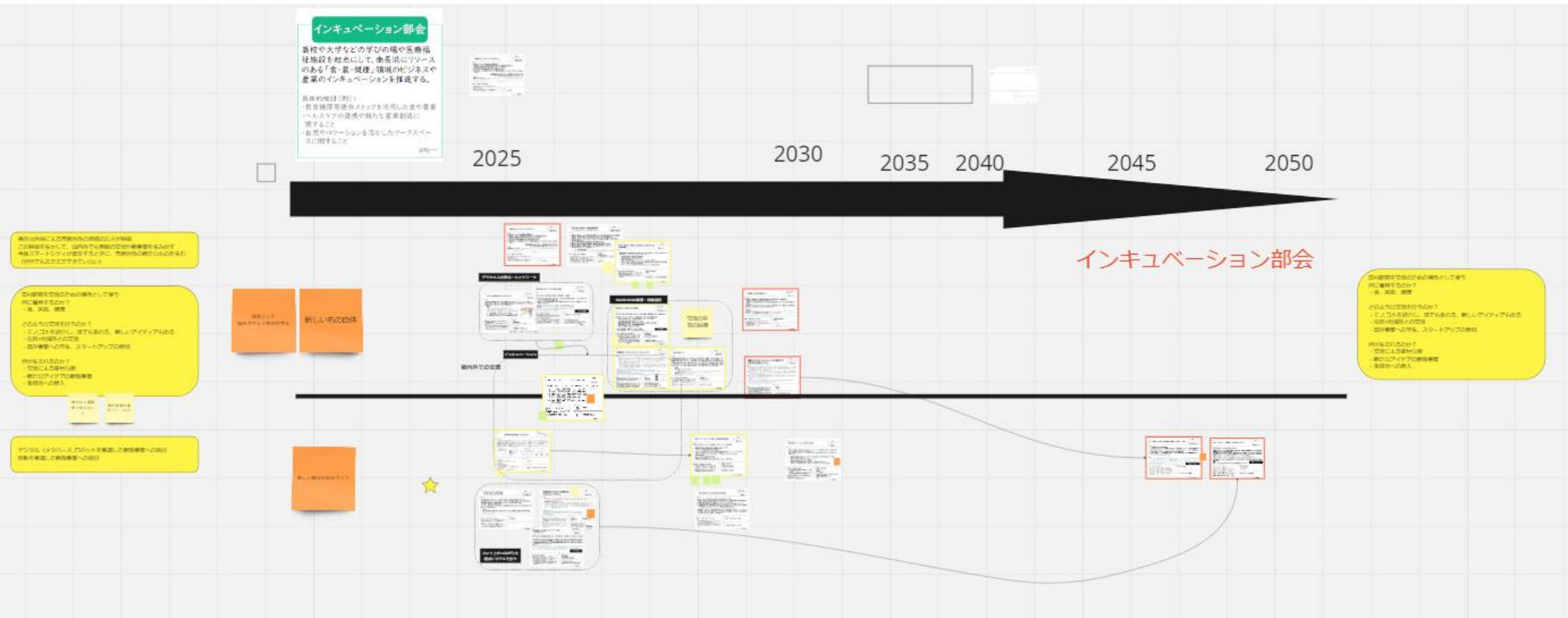


■ 2050年まちづくりを実現するための事業アイデア

ワークシート 全体像



インキュベーション部会

ハーヴェリーは
売り先まで決ま
っているのがホ
イント（市が誘
導？）

オフィス**で
オフィスで食材
うるのが増えて
いる？（冷食）



何が入ってい
るかは組み合
わせてみない
とわからない

工賃納入済等は未定
フード系はあり

長浜は合併による市街地外の面積の広さが特徴
この特徴を生かして、国内外でも有数の交流や新事業を生み出す
今後スマートシティが普及するときに、市街地外の新たなものを生む
（世界でもまだまだできていない）

田村駅前を交流のための場所として使う
何に注目するのか？

- ・食、医療、健康

どのような交流を行うのか？

- ・モノ、コトを紹介し、誰でも来れる、新しいアイデアも出る
- ・住民×地域外との交流
- ・既存事業への学生、スタートアップの参加

何が生まれるのか？

- ・交流による幸せな街
- ・新たなアイデアの新規事業
- ・集積地への参入

海外の人達誘
致も考えない
と

海外技術の実
証フィールド

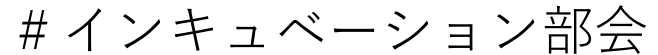
デジタル（メタバース、ロボットを意識した新規事業への検討
移動を意識した新規事業への検討

前提として
既存アセットを利用する

新しいもの自体

新しい創る仕組みづくり





交流の中 身の候補

事業タイトル	2029 年ごろ
地球一個分パーク	想定エリア 農高近辺
事業概要 現状地球2.8個分の生活をしている日本人に、1個分の暮らしを体験してもらえる場をつくる大きな施設を建てるのではなく、「水の循環」「エネルギーの循環」「食・土の循環」「木の循環」を見える化したパーク。1日分のエネルギー×来場者分のエネルギーを使い切ると電気が水通が使えなくなる。食事はプラネターリーヘルスダイエツが提供されるカフェで供る。リネラティブやサーキュラーエコノミーなどの感性が高い人から順に全国から視察に来る。また、ここに来た人が新たな活動やビジネスを生み出すヒントを得る <参考> ・プラネターリーヘルスダイエツ ・クルックフィーズ ・麗美どんこ村 ターゲットペルソナとインサイト 柴さん (32歳・男性・2世帯同居) ・バイオ大学時代やリカレント教育で学んだ農業の知識を生かす場所が近くにあり嬉しい ・再生エネルギーについて身近に感じながら生きたい ・手間がかかって自然とのかかわりを大切にしたい 継承する資本 ・農家高校 ・農高近辺の田畑 新しくつくる資本 飯環を見える化した施設	
作業者 熊谷理美	

事業タイトル	2028~2030 年ごろ
水平線を一望できる湖岸カフェ	想定エリア 湖岸エリア
事業概要 田村駅から徒歩圏内に、琵琶湖の眺望が楽しめる多目的カフェを整備する ・湖岸に沿ったカタチに設計された大型カフェ ・1層はいつでもBBQができるスペース。地元や観光客のファミリー層、友人等の集まりで使える。 ・2層はカフェエリアとワークスペースエリア。眺望を楽しみたい観光客、仕事や勉強に気分を変えて取り組みたい社会人や学生が訪れる。 <参考> 公共BBQのイメージ: [ana&me] 公開ビデオで楽しむポストリデザインBBQのススメ (yokohimab.com) 外観イメージ: 沖縄県読谷村にある星野リゾートパンタカフェ (panta-cafe.com) ターゲットペルソナとインサイト 斎藤さん (35歳・男性・子育て世代) ・土日は、家族で市内で通るので気軽にBBQができるところがあると嬉しい ・在宅勤務で気分転換したいときに見える仕事にも向くカフェがあると助かる ・自然を感じられるスポットが好き 継承する資本 ・眺望 琵琶湖の眺望 ・田村駅 新しくつくる資本 公共BBQ、カフェ、ワークスペース	
作業者 熊谷理美	

事業タイトル	2028~ 年ごろ
健康だけでなくウェルビーイングを追求する 南長浜在宅医療システム	想定エリア 南長浜全域
事業概要 □ 生活の質の向上や医療費削減、病床削減、高齢者の交通の足の問題などから、在宅医療の推進が求められる。一方で、その代償として、高齢者の集まる場所がなくなる、外出機会がなくなるといった課題がある。 □ スマートデバイス（ウェアラブルデバイスやAIカメラなど）を活用して在宅医療は積極的に推進して、アクティブシニアを増やし、市民活動などに結びつけることで、ウェルビーイングの達成を目指す。 □ データ分析による市民活動と健康の関係性など大学研究に反映したり、新たなデバイス開発やサービス開発につなげる。 (参考) スマホで手軽にオンライン診療 - 医療費削減の中心にニュースをお届けする医療タリ新聞社 (shijayusan.com) スマートホーム医療ケア11在宅医療支援サービス (seima.co.jp) 横浜大学スマート社会医療プロジェクト (yoshida-u.ac.jp) ターゲットペルソナとインサイト 斎藤さん ・一人暮らしになってから、子ども達から介護施設もある人見物にプレセントされた。まだ介護は必要ないが、若いころのものが必要になったり、生活費の削減のために節約したい。 ・子ども達も家で介護施設もある。まだまだ元気なので、家に居たい。 ・介護施設の人との交流の機会がない。自分の得意で、楽しんでいける活動があり、地域でアクトエッジを暮らすのが理想。 継承する資本 ・病院 ・介護施設 新しくつくる資本 ・シニアが社会貢献できる機会	

事業タイトル

2028 年ごろ

想定エリア

湘岸エリア

事業概要

企業（特にIT系スタートアップ）の開発拠点誘致事業

- 米原駅と南長浜エリアの無料（あるいは安価）シャトルバスの運行
- 新幹線に合わせた交通利便性の確保（自動運転の活用）
- ハイスペックの通信環境（有線、無線）の充実
- リモートワークを含む充実した仕事、生活環境の整備（自然環境、レクリエーションプログラム等）
- 都会の人も満足できるおいしいレストラン、カフェの誘致
- リモートワーク中心とはいえ、ド田舎ではなく、京都、大阪、東京へのアクセスも良い。
- 社員の住居の確保
- 1ターム、Uターン、地元若者の就職支援
- 地元大学、高校との連携
- 徳島県神山市、宮崎県日南市等の成功事例も参考にしながら、差別化を図る。

ターゲットペルソンとインサイト

斎藤 美さん（35歳男性、妻、娘3歳）：

- 大阪のIT企業に勤務。リモートが多いがサテライトオフィスがあることで完全に孤立化しない。
- 都会に住む必要がないため、自然が残った適度な田舎で公私ともに充実している。

継承する資本

- 琵琶湖、琵琶湖の眺望
- 田村駅
- 空き家や未利用の建物施設

新しくつくる資本

- 開発拠点の中心となる施設

作成者 今庄啓二

事業タイトル

2030 年ごろ

想定エリア

地域全体

事業概要

海外からの留学生（短期～長期）あるいはインターンシップ（日本国内からもあり）を地域で受け入れ、地元の方が、ホームステイ先を提供する。

留学生と地域の交流を促すとともに、長浜市およびその市民と海外留学生およびその出身国との交流を進める。

- 海外留学生が魅力を感じるような長浜バイオ大学の改組あるいは学部増設（すべて英語）。
- 京都にある大学との連携
- 受け入れ先（住居、企業）の確保、教育、サポート
- 海外の高校、大学とのネットワークの構築
- 英語の話せる教員の確保（全国にいるリタイアした教員に声をかける）
- 将来的には、秋田国際教養大学や立命館アジア太平洋大学のような大学を目指す。

ターゲットペルソンとインサイト

青木 京子（70歳女性、単身）：

- 空いた部屋を外国人留学生に貸すことで、新たな刺激になっている。
- 今までなかった海外との接点、関心が生まれた。
- 若者との接点が増えるのは元気が出る

継承する資本

- 琵琶湖、琵琶湖の眺望
- 田村駅
- 地域住民
- 大学（就業必要）

新しくつくる資本

- 海外留学生が魅力を感じるような長浜バイオ大学の改組あるいは学部増設
- 受け入れ先の確保、教育、サポート
- 学生寮

作成者 今庄啓二

事業タイトル

2028～2030 年ごろ

想定エリア

神田山

事業概要

森のようちえんの拡大版(3～12歳までが通う校舎のない学童)

- 園児・児童は、地元の毎日通う子・時々来る子や、1～2週間の短期で来る都市部の子
- 屋内活動が必要な時は、神田まちづくりセンターを借りる
- 学童、園、学校の第三の選択肢(オルタナティブスクール的な要素をもつ)ともなる
- 保育園園舎のような育童の通う子供たちの交流の場となり、小さなころから人の多様性に触れるきっかけづくりとし、関係人口創出に寄与する

保育要素だけではなく、教育的な要素もあるため、地域に開いた場として、「ロープワークが得意」「焼き手が上手に焼ける」など地元の名人を講師として呼び、文化の継承や人々の生きがいを見つげる場としても機能する

ターゲットペルソンとインサイト

森藤さん（35歳・男性・子育て世代）

- 園や学校の数が絞られていることについて困っているため、選択数の増加は嬉しい
- 保育留学イベント運営でメリットを感じているので、恒久的な場所で自分の子どもも預けてみたい

継承する資本

- 神田山、神田山山頂からの眺望

新しくつくる資本

- 地元長浜と都市の人々との交流

作成者 熊谷理美

インキュベーション部会

事業タイトル	2050 年ごろ
パーソナルロボットと一緒に休憩できるまちづくりセンター	想定エリア 南長浜内まちセン
事業概要 まじわる人達：市内の高齢者同士 一人一台パーソナルロボットを持つことが当たり前になる。パーソナルロボットを持つ確率が高いであろう高齢者が、ロボットとの散歩として近くのまちセンまで歩いて移動し、まちセンでロボット同士を交流させつつ他の高齢者と交流する。 まちセンにはロボットの充電スポットやアップデート用コンセント等が準備されていて、ロボットにやさしい施設となっている。 参考： ムーショント目標3 2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現。科学技術・イノベーション内閣府 (cao.go.jp) 渋谷「PARK+」にLOVOT 約40体が集まる、閉店を惜しむ声 パートナーロボットがヒトと共に暮らす社会を提案。ロボスタ (robotstart.info) 少し飛ばしたシナリオとして 南長浜らしさは低い	
ターゲットペルソナとインサイト 青木さん（70歳・女性・長浜市民） - 一人暮らしになってから、子ども達から介護機能もある人型ロボットをプレゼントされた。まだ介護は必要ないが、高いところのものが必要になった時や、力仕事が必要になった時に便利なので活用している。（シート記載事項） - 寂しくなったら、人型ロボットは話し相手として活用するかもしれない。でも人と話す機会を減らしたわけではない	継承する資本 - まちづくりセンター 新しくつくる資本 - パーソナルロボット向け設備
作成者 市岡 敦子	

事業タイトル	2050 年ごろ
DAOやメタバース上で意思決定される共創まちづくり	想定エリア 南長浜内まちセン
事業概要 まじわる人達：市内内外の南長浜に興味のある人全て 行政サービスのデジタル化、民間への委託・協業が加速し、南長浜でも民間企業・住民・自治体から成る地域コミュニティの存在感が増していく。 地域に関する議論や自治の場は、物理的・地理的制約を解消して包摂的に人々が集い、属性に惑わされずに議論することを可能にするメタバース空間や DAO へとシフトする。自治体の役割は、従来の行政運営から、地域コミュニティのサポーター及びファシリテーターへと変化する。 南長浜に魅力を感じる人達が市内外から集まり、地域内のことをDAOで決めるようになっていく。 デジタルの仕組みは活用しつつも、南長浜の魅力は自然や地域文化であるため、DAOをきっかけとして実際に現地にきて交流する人達は増えており、そのための仕組み（NFTを利用した周遊券等）も活用されている 参考： NEDO「デジタル社会の将来像検討のための技術開発課題等に関する調査」 少し飛ばしたシナリオとして 南長浜らしさは低い	
ターゲットペルソナとインサイト 川上さん（40歳・女性・長浜来訪者） - 観光客はお客様という認識で受け身の体験になっているのが勿体無い。（シート記載事項） - 来訪者に対して、自身の街を誇らしく語れる人がもっと増えてほしいと思っている。（シート記載事項） - 河田さん（45歳・男性・長浜在住者） - ボランティア活動にも積極的に参加して交流を楽しんでいる。 - 地域団体や催事に積極的に参加して楽しみたい。	継承する資本 - 地域外の関係者 - 市民の精神 新しくつくる資本 - DAO・メタバースの仕組み
作成者 市岡 敦子	



インキュベーション部会

田村駅前を交流のための場所として使う

何に着目するのか？

- ・食、医療、健康

どのような交流を行うのか？

- ・モノ、コトを紹介し、誰でも来れる、新しいアイデアも出る
- ・住民×地域外との交流
- ・既存事業への学生、スタートアップの参加

何が生まれるのか？

- ・交流による幸せな街
- ・新たなアイデアの新規事業
- ・集積地への参入